



地域支援センターしせい



第2号

【平成28年7月19日発行】

平成28年度 相馬養護学校特別支援教育セミナーのお知らせ

期 日：平成28年7月28日（木） 9：00～15：45

場 所：相馬市総合福祉センター「はまなす館」（相馬市小泉字高池357 TEL：0244-36-5033）

参加者：相馬地方の保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員 福島県内の特別支援学校の教員
相双地区の福祉・医療・労働・行政関係者、地域で特別支援教育に関心のある方

主 催：福島県立相馬養護学校

共 催：相馬地方特別支援教育研究会

福島県特別支援教育振興会相双支部

9：00 9：30 10：00 12：00 13：20 13：30 15：30 15：45

受付	開会 行事	分科会	昼食 午後部 受付	午後部 開会行事	講演会及び 質疑応答 (途中休憩10分)	閉会 行事
----	----------	-----	-----------------	-------------	----------------------------	----------

※午後部の受付は12：50～13：20となります。

第1分科会（第2会議室）：福祉

「明日から実践できる支援のノウハウ ～具体的な療育の事例を通して～」

講師 宮城学院女子大学 教育学部教授 白石 雅一 氏

第2分科会（第1会議室）：教育、福祉

「不登校児の支援 ～福祉と教育の連携～」

講師 じゅにあサポート「かのん」統括管理責任者 新妻 直恵 氏

第3分科会（第3会議室）：教育

「合理的配慮に基づいた授業作り」（相馬地方特別支援教育研究会 第二次研究協議会）

【話題提供者】 福島県養護教育センター指導主事 江田 貴洋 氏

三春町立三春小学校教諭 後藤 裕子 氏、遠藤 淳 氏

講演会

演題：「発達障がいの子どもの特性とその理解

～医療現場での事例や実践を通して～」

講師：東京医科大学茨城医療センター 精神科科長 准教授

児童精神科医師 榎屋 二郎 氏



「第1回 専門家派遣による児童生徒及び教員支援」を終えて

歩行にばかり目がいていましたが、椅子に座って足の裏全体で体重を感じたり、いろいろなマットを敷いていろいろな感触を感じたりすることで、踏みしめる感覚を育てていくことも大切であることがわかりました。

外部より講師を招聘し、児童生徒や教員の支援を行っていただきました。その中で先生方からいろいろな声が聞こえてきました。一部ではありますが、ご紹介いたします。

何か要望がありましたら、地域支援センターにご相談ください。

「第2回専門家派遣による児童生徒及び教員支援」は11月に予定されています。

就学当時の姿もご存じのOTさんで、当時や今までの様子を踏まえてご助言いただきました。当時の様子を伺って、児童の成長を感じ、かかわりや支援を積み重ねていきたいと思いました。

よだれが気になる場合の口元の筋力向上について助言をいただきました。シャボン玉など吹くという活動を積極的に取り入れること、口元の意識を高めるように鼻と口のどちらか一方だけを使ってみることなど、新しい視点から状態を見られるようになりました。

児童の次の課題となる段差や傾斜の上り下りへの支援の仕方や手指機能向上へのアプローチの仕方について助言をいただきました。日常生活や休み時間にも簡単に取り入れることのできる具体的な活動を教えていただき、早速実践しています。